

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

良好な中国経済指標で買い膨らむ

NY原油先物相場は、1バレル=79ドル台まで切り返す展開になった。需要不安を背景に2月22日には73.80ドルまで値下がりしていたが、その後は中国経済成長に対する楽観的な見方が広がったこと、ロシア産の供給不安を手掛かりに、改めて押し目買いを買い拾われる展開になった。米原油在庫は10週連続で増加し、為替はドル高気味に推移したが、米国株が下げ一服となったこともポジティブ材料視されており、約3週間ぶりの高値を更新した。ただ、最近の取引レンジ内での値動きに留まっている。

中国経済の動向に関してマーケットの評価は割れているが、3月入りしてから強めの経済指標の発表が行われたことが、原油相場を押し上げている。3月1日に発表された2月製造業PMIは、国家統計局で前月の50.1に対して52.6、財新で同49.2から51.6まで、それぞれ上昇している。また、3日に発表された2月財新サービス業PMIは同52.9から55.0まで上昇している。ゼロコロナ政策終了後の中国経済成長に対する信頼感が高まったことが、素直に原油相場を押し上げた。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (2月24日時点) は、原油が前週比117万バレル増、ガソリンが87万バレル減、石油精製品が18万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中国需要拡大への期待感で底固い、80ドル台前半を打診

70ドル台前半から80ドル台前半のボックス相場が続いているが、改めて80ドル台へのコアレンジ切り上げが打診されよう。中国の経済成長に対する信頼感が高まっており、特に3月7日に発表される中国2月貿易収支で経済活動の活発化が意識されると、買い安心感が強まる。

また、ロシアが3月に日量50万バレルの減産を表明しているが、減産や出荷減が行われていることが確認された際にも、上振れリスクが高まろう。中国の需要拡大、ロシア産の供給不安を手掛かりに、需給ひっ迫化の見通しの強化がみられるかが焦点になる。

一方、米原油在庫は10週連続で増加中になっている。製油所の原油処理量が伸び悩んでおり、更に在庫増加が促されると、調整リスクが高まる可能性がある。また、前週は米長期金利が一時4%台に乗せたが、更に金利上昇が促されるとドル高や景気減速リスクが調整売りを誘う可能性がある。10日には2月米雇用統計が発表されるが、ここで米金利上昇・ドル高・株安が加速すると、改めて調整売り圧力が強まり易くなる。

3月3日に米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）は、UAEが石油政策やイエメン内戦への対応でサウジアラビアと対立しており、石油輸出国機構（OPEC）からの離脱を検討中と報じた。仮にUAEがOPECから離脱すると大規模な増産政策に転じる可能性が高い。この報道については、Reutersなどが「真実からほど遠い」と報じたことで原油相場に対する影響は一時的なものに留まったが、新たな動きや報道がみられると、原油相場の値動きが不安定化する可能性に注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

